

「省エネルギー学習会」

会議年月日	30年10月5日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	難波、松島、小田島、山田、増永、杉浦、下田、高橋、新田、石垣、春田(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
10月度「省エネ学習会」を開催した。					
テーマ:くらしの変遷とガス					
1、流山市における都市ガス普及の歴史(筒井義憲:元京和ガス(株)会長)					
・世界で初めてガスが使われたのは1792年(226年前)、スコットランドで「ガス灯」として。					
・日本では、1872年(明治5年:145年前)、横浜・馬車道本通りに「ガス灯」が十数基灯された。					
この年に、「新橋ー横浜」に鉄道が開通。近代的なインフラが整備されてきた時代でした。					
その後、1874年(明治7年)、東京・銀座通りに86基のガス灯が輝くようになった。					
・1900年代に入ると、ガスの利用用途は「光から熱」へとシフトしていきました。					
電気は明かりに、ガスは熱とすみわけされました。					
・ガス事業の形態		事業者数	需要家件数	ガス販売量	市場規模(推計値)
(出典;一般社団法人 エネルギー 情報センター 2017年01月31日)	都市ガス	209社(うち公営 29事業者)	約2,923万件(家 庭用・小口業務 用)	363億立方メー トル/年	家庭・小口業務用 2.4兆 円(全体5兆円)
	簡易ガス	1452社(うち公営 8事業者)	約140万件	1.7億立方メー トル/年	0.1兆円
	LPガス	21,052社	約2,400万件(家 庭・業務用)	80億立方メー トル/年	家庭・業務用 2.6兆円 (全体4兆円)
・京和ガスの沿革 : 別紙					
2、最近の省エネ動向:流山市のESCO事業について(橋 宏和:京和ガス(株)取締役営業部長)					
・ESCO事業とは、顧客の光熱水費等の経費削減を行い削減実績から対価を得るビジネス形態のこと。					
・流山市におけるESCO事業の考え方:デザインビルド型小規模ESCO(流山市HPから)					
①フィージビリティスタディ(FS調査)は実施しない(無料省エネ診断等によりベースライン算定)					
②設備改修のイニシャルコストを小規模補正費として上乗せする「出っ張りESCO」					
③優先交渉権者を簡易プロポーザルで選定後、事業スキームを詳細検討し、正式契約					
・生涯学習センターのESCO事業(施設見学会が実施されました)					
<次回予定>					
・平成30年11月2日(金)13:30~15:30 ・流山市生涯学習センター(3F)大会議室					
・産官学連携コーディネーターの役割(中川雅之:千葉県産業振興センター コーデネーター) 以上					

沿革

- 昭和47年 2月 京和ガス株式会社設立
- 3月 京葉ガス株式会社より流山市江戸川台の都市ガス事業譲受
平和ガス株式会社より簡易ガス事業6団地譲受
- 4月 上記一般ガス事業と簡易ガス事業にLPガス販売を加えて事業開始
お客さま数 3,445件
- 昭和51年 2月 10,000m³ 球型ガスホルダー落成
- 昭和54年 5月 **新松戸～本社間都市ガス輸送導管完成(京葉ガス株からの卸供給開始)**
- 昭和57年 2月 南流山区画整理地区、三輪野山、東深井、平方地区等を供給区域として増加
- 10月 お客さま数 10,000件達成
- 昭和61年 9月 新社屋落成
- 昭和62年 9月 野々下、長崎、木、流山9丁目、流山、平和台4丁目地区等を供給区域として増加
- 平成元年 12月 **柏の葉～駒木台輸送導管完成**
- 平成3年 9月 江戸川台団地(駒木台)をLPガスより一般ガスへ切替(約300戸)
- 平成4年 3月 **京和住設株式会社設立**
- 9月 中央商事初石団地(美田)をLPガスより一般ガスへ切替(約400戸)
お客さま数 20,000件達成
- 平成5年 10月 豊四季団地(野々下)をLPガスより都市ガスへ切替(約550戸)
- 平成6年 6月 平方団地(平方)LPガスより都市ガスへ切替(約180戸)
- 9月 緒ヶ崎鉦住協団地(緒ヶ崎)をLPガスより都市ガスへ切替(約190戸)
- 平成8年 4月 ガス料金を複数2部料金制度に変更、原料費調整制度導入
- 平成9年 3月 マッピングシステム導入
- 平成11年 11月 京葉ガス(株)北柏ラインよりガス受入開始(卸供給地点のループ化)
- 11月 改正ガス事業法施行によるガス料金値下げ届出実施
お客さま数 30,000件達成
- 平成13年 1月 天然ガス自動車導入
- 8月 平和台団地(平和台)をLPガスより一般ガスへ切替(約1,000戸)
- 平成15年 9月 TBS団地等(東深井)をLPガスより一般ガスへ切替(約363戸)
- 平成19年 4月 東映豊四季団地を一般ガスへ切替(151戸)
- 7月 ショールーム「G-more」開設
- 8月 ガバナー伝送システム完成
- 平成20年 6月 家庭用選択約款まるごと割引制度導入
- 平成21年 3月 事務所用電力に太陽光発電(10KWh)導入
- 7月 新原料費調整制度開始(毎月調整に変更)
- 11月 お客さま数 40,000件達成
- 平成22年 2月 家庭用燃料電池エネファーム販売開始
- 10月 マッピングシステムの更新(PIAS-GIS)
- 10月 太陽光発電の販売開始
- 平成23年 2月 設立40年目を迎える
- 平成25年 11月 新ショールームG・moreオープン
- 平成26年 4月 消費税率変更に伴う料金改定実施
- 平成27年 12月 災害時の通信網強化に伴い、衛星電話導入
- 平成28年 5月 お客さま数 50,000件達成
- 6月 電力販売開始
- 12月 改正ガス事業法に伴う託送約款認可
ガバナー遠隔遮断システムの導入
- 平成29年 4月 都市ガス小売全面自由化

